

1. 基本情報

基本目標	4	便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり	担当部	建設部
基本施策	2	社会資本の安定的な供給		
単位施策名称	1	公共施設の計画的な維持・保全		
	施策の方向性	●道路や公共施設の計画的な維持・保全、延命化を図ります。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	中期目標(R2)
1	橋梁長寿命化修繕実施済み橋数	橋	目標値		3	5	7	9	10
			実績値	1	2	3	4		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2	予防型改修の施設数（築15年未満の施設を対象）	施設	目標値		1	2	5	7	7
			実績値	-	0	1	2		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

国の交付金の内示率が低いため、計画どおりに事業の進捗が図れていない現状があります。

・評価及び対応方針

道路や公共施設の計画的な維持・保全、延命化が必要であるにも関わらず、国の交付金の内示率に事業の進捗が左右されていることから、交付金の確実な配分を求めて国あるいは県に働きかけを行うとともに、限られた財源の中でも事業の確実な進捗を図り、目標達成を目指します。

作成担当部長 建設部長 井上 貴文

4. 今後の展望（評価会議最終評価）

目標値未達成であるうえ、目標値到達率は60%を下回っています。要因は国費の予算割れや実施計画未計上によるものですが、現在の施策の方向性は継続するとともに、分析内容を念頭に、2指標がともに未達成であることに留意しつつ対応方針に沿った見直しを実施することとします。

【参考】施策の推進に要したコスト

(単位:千円)

区分		No.	事業名称	事業費
施策の成果を 押し上げる 事業	事務 事業計画	1	橋りょう長寿命化事業	27,804
		2	道路補修等事業	77,554
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
施策の成果を 維持する事業	財政 計画	1	土木総務一般事務事業	1,498
		2	道路管理事業	9,501
		3	水路改良等事業	6,156
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
合計				122,513

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	橋りょう長寿命化事業	事業番号	421101
担当部署名	建設部	維持管理課	
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	2 社会資本の安定的な供給		
単位施策	1 公共施設の計画的な維持・保全		

2. 事業概要

「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの補修設計（6橋）、改修工事（3橋）を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、健全度の低い橋りょうから、順次補修するための詳細設計を行います。 ・ 設計橋数 6橋 ○ 詳細設計をもとに、橋りょうを長寿命化するための工事を行います。 ・ 工事橋数 3橋	○ 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょう定期点検の結果を踏まえ、健全度の低い橋りょうから順次補修するための詳細設計を行いました。 平成30年度設計橋りょう数…6橋 ○ 上記の詳細設計をもとに、橋りょうを長寿命化するための工事を行いました。 平成30年度実施橋りょう数…2橋

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	修繕実施橋梁数（累計）	橋	目標値	3	5	7	9	10
			実績値	2	3	4		
			達成状況	未達成	未達成	未達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		橋りょうの補修・改修が目的のため、実施橋梁数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	37,136	17,947	0	16,400	0	2,789
決算	27,804	12,788	0	12,600	1,120	1,296

6. 評価と対応方針（課長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

本事業は、国の交付金を活用して進めています。平成30年度は交付金の内示率が低く、改修工事を計画していた3橋のうち、2橋について、工事を発注しましたが、7月豪雨の影響で材料等の搬入に時間を要し、1橋は令和元年度に繰り越しています。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

交付金の確実な配分について、国と広島県に働きかけ、改修が必要な道路橋りょうの工事完成を目指します。また、定期的に道路橋りょうの点検を行い、健全な管理を進めていきます。

作成担当課長

維持管理課長 屋敷 学

7. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

国の交付金の内示率が低いため、計画どおりに事業の進捗が図れていない現状があります。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき適正な修繕を行い、橋りょうの長寿命化を推進する必要があることから、国あるいは県に対して、交付金の確実な配分を求めて働きかけを行い、引き続き目標達成に向けて事業を継続することとします。

作成担当部長

建設部長 井上 貴文

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値未達成ですが、要因は国費の予算割れによるものです。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	道路補修等事業	事業番号	421102
担当部署名	建設部	維持管理課	
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	2 社会資本の安定的な供給		
単位施策	1 公共施設の計画的な維持・保全		

2. 事業概要

道路を良好な状態に保ち、安全な生活環境を確保するため、青崎25号線及び柳ヶ丘南北線の改修工事、町内一円の施設修繕、維持補修等を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 府中町道路舗装修繕計画書に基づき、舗装の損傷度が高い道路から、順次舗装の補修を行います。 ・瀬戸ハイム中央道路 L=140m ・青崎桃山線 L=75m ・埃宮総社線 L=142m ○ 老朽化している水路の床版を改良します。 ・施工延長40m ○ 町道および県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行います。なお、県道に係る一定の維持管理については、県の交付金により行います。 ○ 豪雨時の浸水被害を解消するため、雨水排水能力の向上を行います。 ・柳ヶ丘南北線 L=70m ・青崎25号線 L=50m	○ 道路舗装修繕計画書に基づき、舗装の損傷度が高い道路から、順次舗装の修繕を行いました。 ・平成30年度修繕延長：579.3m ○ 老朽化している水路の床版を改良しました。 ・施工延長：40.2m ○ 町内の町道・県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行いました。 ・町道の維持補修：123件 ・県道の維持補修：28件 ※県道に係る維持管理については、広島県からの交付金により実施しました。 ○ 豪雨時の浸水被害を解消するため、雨水排水能力の向上を図りました。 ・柳ヶ丘南北線 L=47.3m ・青崎25号線 L= 7.5m

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	修繕実施道路延長（累計）	m	目標値	1,490	2,790	4,140	5,090	6,000
			実績値	1,109	1,910	2,489		
			達成状況	未達成	未達成	未達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		事業の進捗状況を把握するため、修繕実施道路延長を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	108,018	0	18,627	52,000	0	37,391
決算	77,554	0	13,625	34,600	0	29,329

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

大型バスが通行する街路の舗装修繕については、強度があり、摩耗や変形しにくい舗装材料を使用したほか、交通量が多く、昼間の施工では渋滞による影響がある箇所は、夜間施工により対応したため、施工単価が上がりました。また、7月豪雨の復旧作業により、路面の損傷が考えられる路線は、災害復旧作業完了後に施工するよう施工時期の見直しを行いました。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

バス等大型車両の通行が多い街路については、舗装の長寿命化、周辺住民の生活への影響も考慮しながら、舗装材料、施工方法等を選定し、適正な舗装修繕を計画的に実施していきます。

作成担当課長

維持管理課長 屋敷 学

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

大型車両が通行する幹線系街路において、その道路に見合った舗装材料を選定し使用したことや、交通量の多い路線で、交通渋滞の可能性が懸念される路線を夜間施工としたことから、施工単価が上がり修繕延長が伸びず、目標未達成となりました。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

道路舗装修繕計画に基づき適正な舗装修繕を行うことが必要であることから、引き続き目標達成に向けて事業を継続することとします。

作成担当部長

建設部長 井上 貴文

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値未達成ですが、目標値到達率は60%を超えています。分析内容に留意しつつ、引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。